



令和3年度第1回「地域産業」講座 「今、産業界はあなた方に何を望んでいるのか」



5月25日（火）令和3年度「地域産業」講座①が開講しました。
第1回目は、一関市長 勝部 修 様から「今、産業界はあなた方に何を望んでいるのか」と題してお話を頂きました。

時代の主役は、お役所様ではない。君たちだ！！、仕事为上達していくプロセスとは、【知る⇒わかる⇒やる⇒やり遂げる⇒教え⇒報告】このプロセスを今からトレーニングすることが大切であることを話されました。特に、【やる⇒やり遂げる】はアナログでなければならない。

【教え⇒報告する】は、指示を受けた人に面と向かって報告が出来ること、これは、アナログ+デジタルの使い分けであることも話していました。

また、宮沢賢治の仕事から、「視点」は「現場主義」であることを熱く語られました。満足度という視点では、カスタマー・デライトについて、「満足度の質を高めること一歩先の満足感と感動を与える仕事ができるような社会人を目指せ！！」と将来一関市で働く私達に「仕事の質」の在り方を教えてくれた様な気がしました。

勝部市長が伝えたいことを考えたとき、講義冒頭で話された「心構え【心が前】」であることの大切さであると解釈したいと思います。

講話のまとめとして、「工業高校は一関市が必要として設置した学校、一関工業高校の君たちが、将来の一関市の主役になるのだ」と話して下さった事に勝部市長の熱い想いを感じる事が出来ました。

m(_)_m
～ いま 関工がおもしろい ～

